

市民皆様と共に歩む  
豊かなまちづくり



三好市長  
俵 徹太郎

新年あけましておめでとござい  
ます。2007年のすがすがしい新春を、  
ご家族お揃いでお迎えのことと、心よ  
りお慶び申し上げます。  
日頃は、市政各般にわたりまして、  
また昨年は、三好市の記念すべき市制  
発足・新たな幕開けにあたり、市民皆  
様には、格別のご支援とご協力を賜り  
ましたことに、厚く御礼申し上げます。  
わが三好市は、四国最大の約722

平方キロメートルという行政面積を有  
し、祖谷溪谷や大歩危峽などの自然環  
境に恵まれた、全国でも有数の美しい  
まちとして誕生いたしました。一方で、  
少子高齢化と過疎が急速に進行するな  
ど、市政発展に向け、大きな課題も抱  
えながらの船出でもありました。

三好市のまちづくりの基礎として  
「市民参画型の行政」を掲げておりま  
すが、昨年は各地域の各総合支所単位  
で移動市長室を開催しました。また本  
市の重要課題であります「行財政改革」  
並びに「総合計画」の策定の委員とし  
て市民の方々のご参加を賜り、様々な  
角度・分野からのご検討をいただき、  
年度内にはこれからの市のまちづくり  
の指針を策定いたします。

さて、地方分権化社会実現に向けて、  
「骨太の方針2006」をもとに、国  
の新たな行政改革が断行される中で、  
昨年暮れに地方分権改革推進法が成立

# 行政

し、新たな新分権改革が推進されます。  
特に三位一体改革の更なる前進が生み  
出した新交付税制度の段階的施行など  
の行財政改革の推進により、地方財政  
がこれまで以上に圧迫されることが危  
惧されており、地方を取り巻く状況は  
依然、厳しさを増すばかりです。その  
中で真に強い地方分権化社会の構築を  
目指すためには、情報公開をしっかりと  
行い、行政と市民皆様とが共通した  
認識を持つなかで、スケールメリット  
を生かした効率的・効果的な行政運営  
を行う三好市創造に向けて共に邁進し  
ていくことが、実り多い活力溢れる将  
来への前進であると考えております。

本市のまちづくりの基本目標の一つ  
に「災害に強いまちづくり」がありま  
す。徳島県内ならびに本市においても  
甚大な被害をもたらすことが予想され  
ている南海・東南海地震や台風などの  
自然災害への対策は、地域社会におけ  
る「自助」「共助」が重要な役割を担っ  
ています。このため、自主防災隊など  
を結成できますよう国や県、市民の皆  
様と連携し、組織率の向上に取り組む  
とともに、市内全域での情報通信網整  
備にも全力を傾注してまいります。

また本市のリーディング産業と位置  
づけています観光産業につきまして  
は、祖谷のかずら橋や大歩危峽、井川  
スキー場など、それぞれの観光施設に、  
毎年たくさんの方々を訪れていただい  
ておりますが、今後はさらに、これら  
の施設のソフト・ハード両面において  
望ましい方向性を再構築しながら、時  
代のニーズに応じた充実したサービス  
の提供を行うとともに、全国への情報

発信を活発に行つてまいります。  
これらと関連して、国道32号におけ  
る国直轄の新猪ノ鼻トンネル工事と大  
歩危トンネル工事は、高規格道路「8  
の字ルート」と連結する四国の大動脈  
として、生活圏域の拡大のみならず、  
三好市の観光ネットワーク整備施策の  
中でも最大の事業であり、早期完成に  
向けて、国・県、その他関係機関へ事  
業の積極的な推進を強く要望するもの  
であります。また市民皆様の日常的な  
交通の利便性の確保と向上のため、辺  
地タクシー制度の全市内実施に向け、  
段階的に取り組むとともに、三野町と  
池田町を直通で結ぶ市営バスの運行実  
施に向けて、積極的に推進してまいり  
ます。

介護保険制度や障害者支援につつま  
しては、法律改正により大きく変化する  
ものでありますが、福祉行政充実に向  
けて、的確・迅速に対応してまいり  
たいと思います。三好市の未来を担う  
子供たちのため、安全・安心な教育環  
境づくりに努めますとともに、地域全  
体で子供を産み、育ててくようなよう  
な地域環境をつくる必要があります。  
迎えました平成19年は、三好市に  
とって躍進の年、勝負の年であります。  
市民皆様の福祉の向上と地域の振興と  
ともに、生き残りをかけた市政運営を  
より効果的に行い、「自然が生きて生き人  
が輝くまちづくり」の実現に向け、邁  
進してまいりますので、今後ともご支  
援ご協力をよろしく願います。

新春の門出にあたりまして、市民皆  
様の皆様とご多幸を祈念申し上げます。  
して、年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとござい  
ます。平成19年の輝かしい新春を迎  
え、市議会を代表いたしまして、謹  
んで新年のごあいさつを申し上げます。  
市民の皆様方には、明るく希望に  
満ちた新年を、ご家族おそろいでお  
迎えのこととお慶び申し上げます。  
また、平素より、市議会活動並びに

市政運営に對しまして、温かいご理  
解とご協力を賜り、心から厚くお礼  
申し上げます。

昨年3月1日には、三好郡内の6  
町村が合併して「三好市」が誕生い  
たしましたが、この歴史的な合併に  
至りますまでには、関係各位並びに  
市民の皆様方には、諸事万端にわた  
り、格別のご理解とご尽力を賜りま  
した。ここに、改めて心から感謝  
申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみます  
と、皇室の紀子さまの男子ご出生の  
ニュースが日本国中を祝福ムードに  
包みました。また、トリノ五輪での  
フィギュア荒川静香選手のコメダル  
や、WBCでの王ジャパンが初代王  
者に輝き、夏の甲子園決勝戦では  
37年ぶりの引き分け再試合など、ス

三好市議会議長  
中岡 幸敬



市民の皆様  
の声を  
市政に反映させます

# 議会

合併初年度の三好市議会は、昨年  
4月の議員定数特例を適用しての市  
議会議員選挙により、私たち38人の  
議員を選出していただきました。5  
月の初議会や6月定例会において  
は、各旧町村が抱えるそれぞれの課  
題や、議会運営方法の違いなどから  
多少の混乱はありましたが、9月・  
12月の定例会と回を重ねることに議  
会運営のルールづくりも進み、今年  
は、合併後のまちづくり本番に向け  
て、更に活発な議論の展開が期待さ  
れております。私たち議員一同は、  
合併後初めての新年を迎え、あらた

めて身の引き締まることとありま  
して、市民の皆様方には一層のご指  
導・ご鞭撻を賜りますようお願い申  
上げます。

いよいよ、地方分権時代の幕が開  
け、地方が独自性あふれる政策を進  
める時が来たといえ、これの実現  
のためには、国は行政権限と財源を  
一体として、地方に譲ることが不可  
欠であります。私たち地方の多くの  
市町村では、地域経済の低迷、少子  
高齢化・人口減少など、さまざまな  
問題を抱えておりますが、このよう  
な厳しい状況下にあっても、これ以  
上の地方の衰退は許されません。合  
併後の「三好市」においても、旧6  
町村の均衡ある発展を目指し、市民  
と行政が協働して、観光等の地域資  
源を活かした個性あるまちづくりを  
進め、次世代に引き継げるよう努力  
していくことが、私たちに課せられ  
た使命であります。

市議会といたしまして、市民の  
皆様の声を市政に反映していくこと  
を第一の基本とし、開かれた市議会  
を目指し、更なる努力と研鑽を重ね、  
市民の皆様への負託にこたえられるよ  
う、決意を新たにいたしております  
ので、本年も議会活動に對しまして、  
温かいご支援ご協力を賜りますよ  
う、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年を迎え、市民の  
皆様のご健勝とご多幸を、議員一同  
心よりご祈念申し上げます。年頭  
に当たつてのごあいさつとさせていただきます。